

## 10/27 渡辺先生ご指導

10/27 の練習を録音したので、再生しながら要点をメモしてみた。当日練習を欠席した方は、これを見て、自学していただきたい。練習に参加した方は、思い出して指摘されたことを確認していただきたい。パートリーダーの方は、パート練習の参考にしていただきたい。渡辺先生の練習はあと1回しかないので、次回の渡辺先生の練習には、注意されたところは確実に修正して、完成に近づきたいものである。

### 重要なご指導：

- ・パート単独では良くできていても、合わせると、ときどき歯車が噛み合わず、縦の線が合わないことがあるのが問題。指揮をよく見るように。
- ・Ave Maria の最初のグレゴリア “Ave Maria” は、ソプラノも歌うことにする。“Ave Maria” で、“Maria” に入ったら、思いきりブレーキをかける。“ヤンパーパーパ——パ——パ——パ——”。低くならないように。暗くならないように。
- ・Ave Maria はテンポを揺るので、必ず指揮をよく見てついてくるように。特に、6小節、16～19小節。
- ・Senex の最後が合わない。各パート共、53小節以降暗譜し、楽譜を離して指揮を見て歌うように。
- ・O quam gloriosum の17～22小節は暗譜し、楽譜を離して指揮を見て歌うように。
- ・通しの練習は円陣になって歌ったところ、うまくまとまった。時々やってみては。

### 全体での指摘事項：

#### Magi viderunt stellam

- ・8～10小節、パート単独で歌えば良かったのに、合わせると噛み合わない。
- ・23～27小節も同じく噛み合わない。他のパートの音をよく聞いて合わせること。
- ・31～37小節も同じように噛み合わない。

#### Vere languores

- ・3小節、“-guo” は声を出す。
- ・29小節、“Dul-” の出るのが早い人がいる。休符の分、待て。
- ・最後の3小節、必ず指揮を見よ。

#### Ave Maria

- ・急がないでゆっくり演奏するが、テンポの伸び縮みがあるので要注意。
- ・6小節、“Dominus tecum” のリズム、ソプラノの“パーパパーパ” というリズムが他パートの“パーパパー” というリズムと噛み合わない。
- ・6小節、小節の後半“-nus te-” でややブレーキをかけるので、必ず指揮を見て、注意してついてくること。次の“-cum” は atempo。

- ・ 16 小節のあたりからブレーキをかけるので、必ず指揮をよく見るように。
- ・ 20 小節、“Sancta Maria” はフォルテでも良いが、意味のある “Sancta Maria” が欲しいので、ぶつけないように。
- ・ 37 小節あたりから “Amen” にブレーキをかけるので、必ず指揮をみること。

#### Senex puerum portabat

- ・ 出だし、ソプラノもアルトも、ベースも遅い。

#### O quam gloriosum

- ・ 音を高めに取りすること。
- ・ 55 小節では遅くしない。

#### 守る

- ・ 急がず、ゆっくりと。
- ・ 23 小節(ベース)、24 小節(テナー)、25 小節(アルト)、“ことばはない” はテヌートでゆっくりと。べたっと歌う。
- ・ 34 小節、“ただ さけびだけ” はべたっと歌う。
- ・ 38 小節、“さけびだけ” は dim. を効かす。

### 各パート毎の指摘事項：

#### ソプラノ

##### Magi viderunt stellam

- ・ 出だし、後ずさりする感じがする。もっと前に進むように。待たないで。
- ・ 前半、とても良いが、声が暗い。もっと明るく。
- ・ 20 小節、“Sancta Maria mater Dei” はフォルテでも良いが、ぶつぶつ切らないように。

##### Ave Maria

- ・ 出だし、“gra-” に入るのを急ぐな。早く突っ込む人がいる。暗くならないように。
- ・ 6 小節、小節の後半 “-nus te-” でややブレーキをかけるので、注意してついてくること。次の “-cum” は atempo。
- ・ 後半音が下がる。37 小節のあたりで随分低くなっている。最後の “Amen” は低い音域でピッチを保つのは難しいが、下がらないように。

##### Senex puerum portabat

- ・ 全体的に暗いので、もっと明るく。
- ・ 4 小節、2 拍目の “por-” の D 音は高めに。“-bat” から “Por” にジャンプするのに時間が掛かっているので遅れており、アルトが合わせるのを難しくしている。遅れないように。
- ・ 5～6 小節、#A、#G の音は高めに。
- ・ 37 小節、“-sit” の入り方に気を付けるように。
- ・ 61 小節以降、随分下がる。気を付けて。

## アルト

### Magi viderunt stellam

- ・ 出だし、待ってないで、前に進むように。
- ・ 前半、良い。

### Senex puerum portabat

- ・ 31～38 小節、走らないように。

### 守る

- ・ 27 小節、“さけび”に入ったところで抑えて、ソプラノの“ぶきはない——”に譲る。

## テナー

### Magi viderunt stellam

- ・ 13 小節、“stel-lam”の F 音は高めに。
- ・ 前半、とても良い。

### Vere languores

- ・ 16～17 小節、走り過ぎてベースと合わなくなっている。
- ・ 64～65 小節、遅くしがちだが、ここはテンポを落とすところではない。他のパートを聞き、必ず指揮を見よ。

### Ave Maria

- ・ 最後の“Amen”が下がりやすい。高めに。

### Senex puerum portabat

- ・ 前半、とても良い。
- ・ 10～13 小節の 8 分音符の動きが、他のパートと合わない。他のパートを聞いて合わせるように。
- ・ 62 小節 3 拍目“ra-”の D 音、高めに。

### O quam gloriosum

- ・ 18～20 小節、8 分音符の細かい動きで走る人がいる。
- ・ 最後の“-rit”の #C の音、下がっている。高めに。

## ベース

### Magi viderunt stellam

- ・ 26 小節 3 拍目、“Re-”の C 音、低い。もっと高く。
- ・ 音量のバランスからすると、ベースは遠慮気味。もっと出して欲しい。

### Ave Maria

- ・ 6 小節、“Dominus tecum”はゆっくりと。
- ・ 最後の“Amen”が下がりやすい。高めに。

### Senex puerum portabat

- ・ 出だし (7 小節) の“Se-”が、自分では正しいタイミングで出ている積りだろうが、響きが鳴

り出すのに時間がかかっていて、遅れて聞こえる。早めに響かせるように。加えて、音が低い。

- ・ 31 小節、“-rit” の H 音が低い。
- ・ 38～39 小節、“-sit” 伸ばしてる間に下がらないように。
- ・ 43 小節、“-sit vir-” の H 音のオクターブジャンプを滑らかに。
- ・ 50 小節以降、他のパートと合わない。必ず暗譜して、指揮を見て歌うように。

守る

- ・ 最後 “いのちのために一” の D 音は高めに。

以上

(文責：広瀬 弘)